

地域整備方針

(松戸市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>松戸駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>松戸市は、都心から 20 km圏内という立地により発展した良好な住環境と、上野東京ライン及び東京外かく環状道路の開設による交通利便性を有している。</p> <p>このような特性を生かし、「働き方改革」によるライフスタイルの変化を見据えた多様なワーク・ライフを支え、ニュー・ノーマルに対応した多機能複合市街地を形成することで、東京の一極集中の課題に貢献し、東京の衛星都市から脱却した「自立した新しい大都市近郊型都市」を目指す。</p> <p>この際、松戸中央公園とその周辺のみどり豊かな環境を中心に商業・業務・文化・居住等の多様な都市機能を整備することにより、仕事と暮らし、学びと遊びが隔てなくつながるライフスタイルを実現する都市空間を創出する。</p> <p>併せて、切迫する首都直下地震や近年多発する記録的豪雨による水害等、大規模災害のリスク低減等により、災害に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な働き方、暮らし方を可能にする機能の導入・強化 ・ 都心に近接する立地を活かし、働き方の自由度を高めるサテライトオフィスやシェアオフィスなどを含めた業務機能の強化 ・ 多様な働き方を支える居住機能と子育て・生活支援機能の強化 ・ 仕事・暮らし・学び・遊びが隔てなくつながるライフスタイルを実現する場として、文化・商業機能の充実・強化 ○ 松戸市が推進するクリエイティブシティの実現に向けて、インキュベーション機能等を強化 ・ 大学発ベンチャーや文化・芸術・先端テクノロジー等のクリエイターが働く場、交流の場 ・ 地場産業を生かしたビジネス創出の場 ○ 旧松戸宿の歴史や坂川の水辺空間を生かし、賑わいやうるおいをもたらすウォーカブルな都市空間整備を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通結節点として改札外コンコースと自由通路を統合した利用しやすい改札外通路の整備 ○ 鉄道やバスなど各交通機関への円滑な乗換えが可能な東口駅前広場の整備や駐輪・駐車場の改善 ○ 市街地再開発事業とあわせて松戸駅東口から新拠点ゾーンへの歩行者アクセスを改善する歩行者デッキの整備 ○ 防災性や回遊性向上のため、東西を結ぶ経路のバリアフリー化及び歩行者デッキの整備 ○ 新拠点ゾーンの災害対応拠点の整備 ○ 市民ニーズに柔軟に対応し、だれもが利用しやすく親しまれる市役所機能の再編 ○ 平時には多様なアクティビティが展開する人々の交流の場であるとともに、有事には公共施設と連携し、被災者や帰宅困難者の一時的 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新拠点ゾーンにおいて、土地区画整理事業により、松戸中央公園を中心に商業・業務・文化施設が一体となり充実した時間を過ごせる空間の整備 ○ 駅周辺においては、市街地再開発事業とあわせて建築物と公共施設の一体的な整備や高度利用により、商業の活性化と都市型住宅の供給を促進 ○ 新拠点ゾーンから松戸駅西口へとつながるシンボル軸にふさわしい景観を形成するため、沿道建物の形態、色彩などを誘導 ○ 産官学民が連携したエリアマネジメントの推進により、まちの魅力とにぎわいを創出 ○ ドローン活用のトップランナー都市となるため、産官学連携により、ドローンに関する先進的な知見を集積するとともに、災害等有事の際における支援物資等の輸送手段として、新たに空路の整備に取り組む ○ クラウドファウンディング等 FinTech の活用による空き店舗等の有効活用や新規ビジネスの創出を推進 ○ 新技術の導入やテレワーク推進の

	<p>強い都市環境を創出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模災害等発生時に松戸駅周辺の被災者や帰宅困難者の安全を確保する都市防災機能や首都圏本社の事業継続が可能なバックアップオフィス機能の強化 	<p>な避難場所となる松戸中央公園の再整備</p>	<p>ための環境整備、3密回避や災害時の市民・帰宅困難者等に向けた情報伝達手段としてのIoTの活用など、スマートシティ化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 再生可能エネルギーの活用による環境にやさしい低炭素化の促進と合わせて、面的で自立したエネルギーマネジメントを検討
--	---------------------	---	---------------------------	--

地域整備方針

(新潟市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>新潟都心地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 江戸時代より北前船の寄港地として繁栄し、幕末には開港五港に選ばれ世界に開かれた新潟市の原点である新潟都心地域において、新潟駅周辺地区、万代地区、万代島地区、古町地区を都心地域の拠点地区と位置付け、各地区を公共交通や歩行者等のネットワークで結び、連動させながら、みなとまちの活力と風格、高度な機能を備える都市形成を推進</p> <p>本州日本海側の最大都市という立地とインフラを活かし、国内外の企業に選ばれる都市機能を強化するとともに、産業振興に取り組み、多様で魅力ある雇用の場を確保</p> <p>災害が頻発化・激甚化する昨今において、都心部の都市機能の向上と安全性の強化を推進すると共に、都市間連携を進めることで、太平洋側の災害時に代替機能を発揮する日本海国土軸を形成</p>	<p>(4 地区全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化した建築物の更新に合わせ、細分化された敷地の大規模化・高度利用を図り、緑地などのオープンスペースを創出すると共に、津波避難ビルや一時避難施設、災害備蓄倉庫等を整備し、ハザードに対応した防災機能を強化 ○ 企業の本社機能やサテライト拠点の誘致に向け、フロア規模や通信インフラなど企業ニーズに沿ったオフィスビルの整備により、業務機能を強化するとともに、職住近接の質の高い都心居住を強化・推進 ○ ビル低層部の商業利用やオープンカフェなど賑わいや歩きたくなる空間を創出する開発を促進し、市街地の回遊性を強化 ○ 公共交通を補完する小型モビリティやレンタサイクル、徒歩など多様な交通手段の活用による、都心部における回遊性の強化 	<p>(4 地区全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 温暖化等の影響により頻発する豪雨水害に対し、浸水対策となる雨水管、ポンプ場等の整備を推進 ○ 各拠点地区を結ぶ公共交通の利便性向上に向けたバス交通の強化、および拠点周辺へのアクセス向上に向けた多様な交通手段の強化 <p>(新潟駅周辺地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道在来線の高架化や、立体交差道路、万代広場、駅直下バスターミナル(高架下交通広場)の整備促進により、南北市街地の一体化と都市機能の強化を推進 ○ 新潟駅南口周辺において、中・長距離バスターミナルを整備し、広域交通結節点の機能を強化するとともに、災害時の一時避難施設や、相乗効果が発揮される業務、商業等の施設との一体整備により、高次の賑わいを創出 	<p>(4 地区全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史文化や水辺空間など、各拠点地区の個性に応じた景観の誘導により、風格ある都市景観の形成を推進 ○ 大規模災害や感染症の蔓延に備えた企業のBCPの観点から選ばれる、安全・安心で新たな生活様式に対応した都市環境を形成 ○ 5G、AI、IoT、ロボット、ビッグデータなど先端技術の活用や、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を促進し、新潟市の強みである食と農業の分野において、スマート農業や、フードテック・アグリテックに関連する事業創出を推進するとともに、まちづくり分野におけるスマートシティを推進し、Society5.0の実現を目指す。 ○ 都心部の移動の円滑化に向け、市民や関係者と協働でMaaSの導入を促進するとともに、安全性の向上を図る公共交通の自動運転化など、次世代技術の活用を検討

<p>緑と賑わいがあふれるウォーカブルな空間を形成すると共に、新潟市のシンボルである萬代橋周辺において、信濃川やすらぎ堤や万代テラス（信濃川右岸緑地）など、既存資源を活かした魅力的な水辺空間を形成</p> <p>脱炭素社会の創造に向け、SDGsの視点から、スマートエネルギーシティの推進により、次世代型の環境都市を構築</p>	<p>（新潟駅周辺地区）</p> <p>広域交通結節点の機能を強化し、新潟市の玄関口に相応しいビジネス拠点として、高度な機能と風格を備えた都市空間を形成</p> <p>（万代地区）</p> <p>萬代橋周辺の魅力的な水辺空間と商業集積を活かし、地区内外の回遊性を向上させることで、賑わいあふれるまちづくりを推進</p> <p>（万代島地区）</p> <p>都心のウォーターフロントの立地と国際交流拠点機能を活かし、みなとらしさを感じられる賑わい空間を形成</p> <p>（古町地区）</p> <p>様々な機能の都心回帰を進めると共に、みなとまちの歴史と文化を活用し、歩いて楽しめる魅力的な街並みを形成</p>	<p>（新潟駅周辺地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広域交通結節点の利点を生かした高次の業務機能を誘導すると共に、商業、宿泊など多様な都市機能との複合化・高度化を推進 ○ ビジネスフロアとして5Gなど次世代通信環境を整備するとともに、事業者間の交流促進によるイノベーションを生み出すオフィスを整備し、新産業やベンチャー創出につながる、スタートアップ拠点を形成 <p>（万代地区）（万代島地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 商業、文化、観光・交流、エンターテインメント機能の充実、水辺空間との連携、MICE誘致の促進により、体験型・時間消費型の都市機能を強化 <p>（古町地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務、商業、文化、観光・交流、教育、居住など、多様な都市機能の再集積を図るとともに、日常生活や観光需要を踏まえた案内機能を強化し、賑わいあふれる市街地の形成を推進 	<p>（新潟駅周辺地区）（万代地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都市の緑化と道路空間の再構築を進め、人と車の動線を整理し、回遊性の向上と多様な利活用を促進することで、人中心のストリートを整備 <p>（万代地区）（万代島地区）</p> <p>（古町地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 立体歩道等の整備により、周辺街区から信濃川やすらぎ堤など水辺空間へのアクセス機能を向上させ、市街地と水辺の連携による活性化を推進 <p>（古町地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 既存アーケードや地下街、地下駐車場の利便性や快適性、安全性の向上を図り、周辺開発と連携することで、歩行者ネットワークを充実・強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市の強みを生かしたイノベーションを促進するため、県内外も含めた農商工連携・産官学連携による高度人材の育成とベンチャー創出の拠点形成を推進 ○ ESG投資を促し、太陽光などの再生可能エネルギーや下水熱などの未利用エネルギーの活用促進により、環境に配慮した市街地を形成 ○ 民間活力の導入によるエリアマネジメントを推進し、魅力や賑わいの創出と地域価値の向上、情報発信を強化 <p>（新潟駅周辺地区）（万代地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道駅やバスターミナルなど広域交通結節点周辺の立地を活かし、新潟駅南口周辺地区や万代地区の低未利用地の有効活用を推進
---	--	--	---	--

地域整備方針

(福岡市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
福岡箱崎地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>福岡箱崎地域においては、市街地内の貴重な大規模活用可能地として機能を充実・転換する九州大学箱崎キャンパス跡地を中心に、新たな活力・交流や充実した教育・研究環境を生み出すとともに、安全・安心・快適で健やかに暮らすことができるまちづくりを実現</p> <p>そのため、九州大学が百年存在した地としてのブランドと、広大な敷地や交通といった強みを活かし、働く人や学ぶ人、住む人、訪れる人などこれまで以上に幅広い人々が集まり、イノベーションを生み出す新たな拠点を創出</p> <p>また、千年以上に渡る箱崎の歴史や文化も踏まえながら、新たな拠点の創出に向け、イノベーションを生み出すチャレンジできるまちと、幅広い人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルや都市空間づくりに取り組み、未来に誇れるまちを創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな拠点を創出するため、平面・立体・複合的につながる多様な都市機能を誘導 ○ これまで九州大学が担ってきた知の拠点を継承し、イノベーションを生み出す機能や、人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルを支える機能を誘導 <p>《誘導する都市機能》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションを生み出す人材・企業の集積を図るため、業務や研究機能、創業を支援する機能 ・まちの付加価値向上やイノベーションを生み出す人材育成のため、多様な教育機会を提供する機能 ・働く人や学ぶ人など幅広い人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルを創出するため、安全・安心・健やかに暮らせる豊かな居住機能 ・大学が地域とともに担ってきた役割の継承と、新たな活力の創出のため、文化・情報発信や生涯学習の場など、人々が集う交流・にぎわいの機能 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まち全体の一体感の創出や、周辺地域の調和・連携・交流に向けた都市空間を整備 <p>《駅の交通結節機能強化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝塚駅、箱崎九大前駅、今後設置予定のJR鹿児島本線新駅などの交通結節機能強化のため、アクセス道路や駅前広場、駐車場、駐輪場等を整備 <p>《道路》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市全体の道路ネットワーク形成のため、都市計画道路堅粕箱崎線・原田箱崎線を整備 ・都市開発事業に伴う安全性や交通利便性向上のため、既存道路拡幅を含め区内道路を整備 ・街並み景観や安全性、防災性へ配慮するため、無電柱化を推進 <p>《オープンスペース》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市環境や憩い・市民活動の場や様々な人が利用し交流するゆとりある空間、災害発生時に危険を避けるため住民等が一時的に避難できる場として 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくりの様々な課題を解決しながら、持続的に発展していくため、モビリティやウェルネスなど、最先端の技術革新の導入などによる先進的なまちづくり「Fukuoka Smart East」を推進するとともに、持続的な発展のため、最先端の技術革新の継続的な導入に向けて検討 ○ 福岡箱崎地域の持つ立地特性を活かしながら、「交流と賑わいの創出」等を進めることにより、福岡市の「グローバル都市」としての知名度と国際競争力の向上に寄与し、市の持続的な成長に貢献する、新たな活力・交流を生み出すまちを目指す ○ 環境共生とともに防災・防犯などの安全・安心に資する取組みを誘導 ○ 周辺地域と調和・連携・交流しながら、一体的な発展に配慮 ○ 九州大学の地に存在した歴史的資源と緑を生かし、その面影や記憶を継承 ○ まちづくりマネジメントによる、まち全体の一体感の創出や魅力の向上、安全・安心の取組み等を誘導 ○ 備蓄倉庫の設置や一時滞り場所の設置など、災害時に備えた対応を誘導

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 跡地等及び周辺地域において、生活利便性や回遊性を向上させるため、高質で快適なライフスタイルを支える生活支援の機能 ・ 高齢者や子育て世代、子どもたちなど誰もが、快適で健やかに暮らせる環境を提供するため、関連施設との連携などにより、充実した医療や福祉、健康づくりの機能 	<p>の公園や広場等を整備 《歩行者動線》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 跡地等の回遊性を高めるため、歩行者の骨格動線である「歩の軸」、歩道、歩道状空地等の整備により歩行者ネットワークを形成 ・ 歩行者の安全性向上のため、多数の人が訪れる施設などへ、駅から連続する安全で快適な歩行者動線を整備 ・ JR鹿児島本線東側との連絡性を強化するため、歩行者動線を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会状況の変化を注視しながら、新型コロナウイルス危機を契機として生じた変化に柔軟に対応したまちづくりを検討
--	--	--	--	---

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>東京都心・臨海地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 日本の経済を牽引する高次の中核業務機能のほか、商業、居住、文化、交流など多様な都市機能の集積と、主要幹線道路等の整備による都市基盤の強化を通じて、国際的なビジネス機能等を備えた拠点としてふさわしい景観にも配慮した賑わいと魅力のある都市空間を形成</p> <p>(大手町、丸の内、有楽町) 東京都心において、我が国の顔として、歴史と文化を活かしたうおいと風格ある街並みを形成しつつ、高次の業務機能とそれを支える高度な支援機能を備えた金融をはじめとする国際的な中核業務・交流拠点を形成 この際、併せて、商業・文化・交流などの多様な機能を導入することにより、にぎわいと回遊性のある都市空間を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国際金融をはじめとする中核業務拠点にふさわしい高次の業務機能とこれを支える商業・文化機能等多様な機能の導入 ・高次の業務機能と、高度な専門性を有する業務支援機能の強化 ・業務機能を支え、アメニティを高める商業・文化・交流・宿泊機能等を強化 ・業務機能を支える人材育成・就業者支援・情報通信拠点機能を強化 ○国際化に対応した、教育・医療・情報提供・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導 ○成田・羽田空港と直結する交通拠点機能の強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京駅周辺において、東京駅舎を保存・復元するとともに、駅前広場や街路等を整備することにより、東京の顔にふさわしい景観を確保するとともに、交通利便性を向上 ・丸の内側については、駅前広場の整備や行幸通りの景観整備により、我が国の顔となる空間を形成 ・丸の内仲通りの機能を延伸し、にぎわいの創出と回遊性を確保 ・駅周辺の回遊性を高めるため地上・地下の歩行者ネットワークを充実・強化 ・八重洲側については、駅前広場を再整備 ○大都市における環境の再生のモデルとして、日本橋川沿いのエリアにおいて、まちづくりの機会を捉え、水辺のにぎわい創出などにより、日本橋川の再生を促進 ○周辺のまちづくりと連携し、東京高速道路（KK線）上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生 ○その他、以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保 ・大手町、丸の内、有楽町地域の駐車場について、公共と民間、民間相互の連携などにより、効率的なネットワーク化を地域において検討 ・公共的空地の確保や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド 	<ul style="list-style-type: none"> ○丸の内の仲通りに面した地域などにおいては、通りに面した壁面の位置や高さを整えるなどにより、風格ある街並みの形成に資する都市開発事業を促進 ○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進 ○東京駅などの未利用の容積を活用しつつ、用途の配置や容積の配分を適正に行うことにより、メリハリのある高度利用を実現 ○日本橋川の沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化や排熱抑制などヒートアイランド対策を誘導 ○地区継続計画の作成や防災施設整備等の推進 ○地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

(日本橋、八重洲、京橋、銀座、兜町、茅場町、八丁堀)
東京都心や周辺部において、老朽建築物の機能更新や土地の集約化等により、歴史と文化を生かしたうまいと風格ある街並みを形成しつつ、国際的な業務・金融・商業機能や高度な業務支援機能・生活支援機能等が適切に調和した魅力ある複合機能集積地を形成
特に、中央通りを中心とした地域においては、魅力とにぎわいにあふれた国際的な商業・観光拠点を形成

- 業務・金融・商業機能等を高度化と、これらを支える多様な機能の導入と居住・宿泊機能等を強化
 - ・建築物の低層階に商業・文化・交流機能等の導入により商業機能を強化
 - ・高度な専門性を有する業務支援機能の強化
 - ・業務・商業機能との調和に配慮した居住・宿泊機能等の強化を促進
- 国際化に対応した、教育・医療・情報提供・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導
- 震災等に対応できる都市防災機能の強化
この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実

- 現象の緩和に寄与
- ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実
- ・エネルギーネットワークを始め、供給処理施設の機能更新及び強化により、発災時にも自立した機能を確保

- 東京駅周辺において、東京駅舎を保存・復元するとともに、駅前広場や街路等を整備することにより、東京の顔にふさわしい景観を確保するとともに、交通利便性を向上
- ・駅周辺の回遊性を高めるため地上・地下の歩行者ネットワークを充実・強化
- 東京駅前地域の再開発と連携したバスターミナルの整備などによる交通結節機能の強化
- 都市再生と連携した首都高速都心環状線(日本橋区間・築地川区間)の大規模更新を推進
 - ・大都市における環境の再生のモデルとして、日本橋周辺のまちづくりと連携し、首都高速道路の地下化や水辺のにぎわい創出などにより、日本橋川の再生を促進
- 日本橋周辺の首都高速道路の地下化に伴い必要となる新たな都心環状ルートの整備
- 周辺のまちづくりと連携し、東京高速道路(KK線)上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生
- 東京都心部と臨海地域とのアクセス機能等

- 都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導
- 都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導
- 大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進
- AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進
- 都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
- 八重洲の外堀通り等に面した地域においては、交通基盤の強化の連携などにより、東京の玄関口に相応しい都市開発事業を促進
- 国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進
- 銀座の中央通り等に面した地域などにおいては、通りに面した壁面の位置や高さを整えるなどにより、歩行者空間の充実と、魅力ある商業空間の形成を図る都市開発事業を促進
- 歴史的建造物の機能更新等にあたっては、これを生かした都市開発事業を促進
- 首都高速都心環状線(日本橋区間・築地川区間)の大規模更新の機会を捉え、都市再生と連携し魅力的な都市空間の形成を促進
 - ・日本橋川の沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進
- 都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

(日比谷)

東京都心において、文化・交流機能の集積や隣接する日比谷公園の環境を活かし、多様な機能が複合した風格とにぎわいのある都心拠点を形成併せて、周辺エリアとつながる緑豊かな回遊拠点を形成

○文化・芸術機能や迎賓・交流機能の歴史と集積を活かした、文化・交流機能の強化

○まちなぎわいを創出する、飲食・物販機能やイベント機能等の導入

○中核業務機能、国際金融機能、国際カンファレンス機能、情報通信拠点機能、高次なインフラ機能などの更新・強化

○隣接する日比谷公園を活かした緑やうらおいの充実

○震災等に対応できる都市防災機能の強化

の強化など広域的な交通利便性を向上するための公共交通を検討

- ・BRTネットワークの拡大を検討
- ・都心部・臨海地域地下鉄構想の具体化を検討

○水上交通ネットワークの形成の促進

○その他、以下を実施

- ・建築物の更新により整備される敷地内空地や地下歩道などのネットワーク化等により安全・快適な歩行者空間を確保
- ・銀座地域や東京駅前地域において、駐車場や荷さばき場の集約的な整備を地域において検討
- ・公共的空地の確保や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与
- ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実
- ・市街地の更新に当たり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、特に八丁堀駅周辺では、必要となる公共公益施設を再編及び充実

○日比谷地域において、回遊性の向上を図る歩行者ネットワークの強化や地域の顔となる魅力的な公園、JRや地下鉄の駅と隣接した広場空間の整備を検討

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちなぎわいや魅力を創出

○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進

○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進

○都市開発事業において、ゆとりある共有スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導

○隣接する日比谷公園や周辺エリアとの回遊性の向上、緑豊かな広場等の整備、多様な機能の導入等による魅力ある都市空間の形成に資する都市開発事業を促進

○国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化や排熱抑制などヒートアイランド対策を誘導

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

(環状二号線新橋周辺・赤坂・六本木)
中央官庁街に近接し、大使館等が数多く立地する地域において、環状2号線の整備とその沿道土地利用の促進を図るとともに、国際金融・業務・商業・文化・交流機能や生活・業務支援機能など多様な機能を備えたにぎわいにあふれた国際性豊かな交流ゾーンを形成
この際、緑豊かな地域特性を生かしたうまいのある都市空間を形成
また、浜松町駅より海側の地域においては、地域の資源である浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園や海を意識しながら景観や環境にも配慮しつつ、内外の企業が魅力を感じられる国際競争力の高いビジネス拠点を形成

- 良好な住環境を備えた居住機能のほか、国際金融をはじめとする業務・商業・文化・交流・宿泊等の多様な機能の誘導及び高度な専門性を有する業務支援機能の強化
- 国際化に対応した、教育・医療・情報提供・MICE・カンファレンス・滞在型宿泊機能等を誘導
- 新橋駅周辺の交通結節機能の強化
- 国際化に対応した浜松町駅周辺の交通結節機能の強化及びバリアフリーネットワークの強化
- 震災等に対応できる都市防災機能の強化

- 環状2号線、環状3号線等の整備による広域的な交通利便性を向上
- 国際化に対応した浜松町駅周辺開発にあわせ、東京モノレール浜松町駅の改良やバスターミナル再整備などによる交通結節機能の強化及び歩行者ネットワークの強化
- 環状2号線周辺においては、道路と沿道が一体となって風の道となる空間を確保し、快適で魅力的な街並みを形成
- 道路や敷地内通路等の連携による地上・地下の重層的な歩行者ネットワーク等の充実や、駅や周辺の開発に併せた交通結節機能の強化
- 周辺のまちづくりと連携し、東京高速道路(KK線)上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生

- 都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導
- 都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導
- 都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導
- 隣接する日比谷公園と連携した地区継続計画の作成や防災施設整備等の推進
- 地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進
- AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進
- 都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
- 環状3号線と補助4号線にはさまれた区域(補助2号線の西側)及び赤坂地区・六本木地区における良好な住環境を備えた区域においては、周辺市街地との環境に十分調和するよう配慮した都市開発事業を促進
- 国際的なビジネスセンターにふさわしい拠点性と象徴性を備えた国際競争力の強化に資する景観形成にも配慮した都市開発事業を促進
- 環状2号線周辺の土地利用の更新にあわせ、細分化した街区の再編による大街区化を誘導し、緑豊かなオープンスペースや機能的な道路空間を創出
- 都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導
- 六本木地区においては、防犯対策とまちづ

(晴海、豊洲、有明北、有明南、台場、青海、東雲)
都心に近接し、陸・海・空の卓越した交通条件にある東京臨海部において、物流機能の転出等に伴い発生した低未利用地の大規模な土地利用転換等により、職・住・学・遊の多様な魅

- 職・住・学・遊の多様な機能の複合市街地の形成
- この際、新しい産業の育成など先導的な機

- その他、以下を実施
 - ・都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化
 - ・環状2号線周辺地区において、駐車施設の集約的な整備を地域において検討
 - ・虎ノ門バスターミナル及び新橋駅を起点とした、BRTの整備
 - ・まとまった公共的空地の確保・緑化や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与
 - ・国際金融拠点にふさわしい多言語標記サイン等の充実

- 東京都心部へのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための幹線道路や公共交通を整備(幹線道路)

くりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進
また、学校、国際交流施設等の地区独自の文化性、国際性に富んだ資源を活用

- 地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出

- 浜松町駅周辺においては、竹芝地区をはじめ、エリアマネジメントとの連携も図りつつ、防災性の向上やエネルギー対策を推進

- また、浜松町駅から竹芝ふ頭に至る歩行者動線の強化や緑の創出・ネットワークの充実を図り、地区内の回遊性の向上や小笠原及び伊豆七島への玄関口としてふさわしい景観を形成

- 都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

- 都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

- 都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

- 都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導

- AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進

- 都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導

- 計画的なまちづくりに配慮しつつ、暫定的な土地利用への柔軟な対応の促進

- 地域の市街地像を共有化し、一体的かつ総

力を備え国際的に情報発信を行う先導的な拠点を形成
この際、水辺の環境をいかしてアミューズメント・文化・商業などの機能を導入し、都市観光にも資するバランスのとれた魅力的な複合市街地を形成

(佃、月島、勝どき、豊海町、湊、入船、新富、明石町、築地)
個性を生かしたまちづくりと計画的な大規模開発による機能更新により、都心を支える居

能を導入
・大学や研究所などと連携した次世代型の産業・業務・情報機能等の導入
・港湾機能や優れた空港アクセス機能を活かした首都圏の物流・交通拠点機能の強化
・魅力とにぎわいを創出するアミューズメント、文化、商業、交流機能の導入
・都心との近接性や水辺環境を活かした居住機能の導入

○震災等に対応できる都市防災機能の強化
○国際的に情報発信を行う先導的な拠点として、MICE機能の更なる強化により、ビジネスや観光等の都市機能を充実

○良好な居住機能を強化しつつ、あわせて、業務・商業・文化・交流機能の導入による複合

・環状2号線の整備
・高速晴海線の整備
・国道357号（東京港トンネル）の整備等（公共交通機関）
・地下鉄8号線の延伸計画の深度化
・BRTの整備

○さらに、中長期的には、民間の開発状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案しつつ、需要に応じた交通基盤の整備について検討
・都心部・臨海地域地下鉄構想の具体化を検討

○水上交通ネットワークの形成の促進

○豊洲新市場の整備
○防災機能の強化
・外郭堤防、水門の耐震化など、当該地域における防災施設の整備促進

○大規模土地利用転換にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、居住機能の配置に伴い必要となる教育・福祉等の生活関連の公共公益施設を整備

○その他、以下を実施
・水際の遊歩道や歩道状空地等の確保による親水性のある歩行者ネットワークを形成
・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与

○東京都心部へのアクセス機能等の強化など広域的な交通利便性を向上するための幹線

合的に都市開発事業を促進

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

○豊洲埠頭地区において、まちづくりと一体となったエネルギーの面的利用の推進や再生エネルギー・未利用エネルギーの活用など、最先端技術の導入による低炭素社会を誘導

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導

○MICE機能の拡充による国際的なビジネス交流拠点の形成や、アフターコンベンション機能の更なる拡充に資する都市開発事業を促進

○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出

○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進

○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導

○密集市街地においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地の都市環境との調和な

住機能を強化した魅力的な複合市街地を形成
また、築地市場跡地においては、浜離宮庭園や銀座、隅田川、食文化など、魅力的な資源を有する地域のポテンシャルを生かしつつ、新たな東京ブランドを創造・発信する機能を持つ国際的な交流拠点を形成

市街地を形成
・都心との近接性や水辺環境を活かした居住機能の強化
・魅力とにぎわいを創出する業務・商業・文化・交流機能等の導入による複合的な都市機能を強化

○震災等に対応できる都市防災機能の強化

道路や公共交通を整備
(幹線道路)
・環状2号線の整備
・日本橋周辺の首都高速道路の地下化に伴い必要となる新たな都心環状ルートの整備
・高速晴海線の整備
(公共交通機関)
・BRTの整備

○さらに、中長期的には、民間の開発状況や広域的な交通ネットワークの形成等を勘案しつつ、需要に応じた交通基盤の整備について検討
・都心部・臨海地域地下鉄構想の具体化を検討

○水上交通ネットワークの形成の促進

○都市再生と連携した首都高速都心環状線(築地川区間)の大規模更新を推進

○防災機能の強化
・外郭堤防、水門の耐震化、隅田川のスーパー堤防の整備など、当該地域における防災施設の整備促進

○大規模土地利用転換にあたり、公共公益施設の整備状況とバランスのとれた計画的な開発を誘導するとともに、居住機能の配置に伴い必要となる教育・福祉等の生活関連の公共公益施設を整備

○その他、以下を実施
・水際の遊歩道や歩道状空地等の確保による親水性のある歩行者ネットワークを形成
・公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与

どに十分配慮する都市開発事業を促進

○月島地区などにおいては、良好な街並みの形成、防災性の向上、住・商・工が調和した魅力ある市街地の形成に資する都市開発事業を促進

○首都高速都心環状線(築地川区間)の大規模更新の機会を捉え、都市再生と連携し魅力的な都市空間の形成を促進

○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導

○築地市場跡地においては、周辺地域とのつながりに配慮するとともに、民間の活力や創意工夫を最大限活用しながら、段階的な都市開発を推進

○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導

○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導

○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導

○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導

○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出

○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進

○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導

〔特定都市再生緊急整備地域〕

<p>日本経済の中心地である都心から臨海部の一体的な地域において、本社機能の高度な集積や国内外へのアクセス機能、国際色豊かな地域特性を生かし、国際競争力向上に資する先進的なビジネス支援機能の導入促進、外国人が住みやすい居住環境の充実などを一体的に推進</p>			
---	--	--	--

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
秋葉原・神田地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>秋葉原駅周辺において、大規模低未利用地の土地利用転換等により、電気街と連携した世界的な IT 関連産業拠点を形成</p> <p>神田地域において、建築物の更新に併せた市街地の再編整備により、東京駅周辺等の都市機能とも連携する多様な魅力を持ったにぎわいのある安全で快適な複合市街地を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○秋葉原地域においては、IT 関連産業など新しい産業機能の導入及びこれと連携する商業・業務・交流機能を強化 ○神田地域においては、教育・文化・交流・業務・居住機能を充実するとともに、にぎわい形成を促進する商業機能を強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺の回遊性を高めるため歩行者ネットワークを充実・強化 ○神田地域においては、丸の内仲通りの機能を延伸し回遊性を強化 ○水上交通ネットワークの形成の促進 ○その他、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ○神田地域においては、歴史・文化を伝える街並み形成や、学生街等のにぎわい・回遊性の向上に資する都市開発事業を促進 ○神田川・日本橋川沿川においては、水辺の環境を生かすよう配慮した都市開発事業を促進 ○地域主体のエリアマネジメント組織等による公的空間の管理・運営により地域の活性化を推進 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導 ○AI、IoT 等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
品川駅・田町駅周辺地域	<p>[都市再生緊急整備地域]</p> <p>○品川駅を中心とした鉄道施設の機能更新や駅前広場・歩行者空間などの都市基盤整備により、広域交通の拠点性を強化し、東京と国内外を結ぶサウスゲートにふさわしい交通結節点を形成</p> <p>○品川駅周辺では、新幹線や羽田空港などへのアクセスの利便性、臨海部、東京南部の産業とも連携可能な立地特性や、運河などの地域資源を生かし、業務、商業、研究、交流、宿泊、居住などの多様な機能が集積する、新拠点を形成</p> <p>○東京湾からの「風の道」の確保や、大規模公園、緑地、運河などを活用した水と緑のネットワークの形成、下水再生水や下水熱の有効利用などにより、環境負荷を軽減する先進的な環境モデル都市を形成</p> <p>○田町駅周辺の大規模な低・未利用地における業務、商業、居住、教育、文化等、多様な都市機能の整備や、既存市街地の街区再編、機能更新など、計画的な土地利用転換により、安全かつ快適な駅施設をはじめとした公共空間などの整備により、魅力的な複合市街地を形成</p>	<p>(品川)</p> <p>○広域交通における利便性の高さを活かし、国際的なビジネス機能の導入を推進</p> <p>○業務機能を支え、国際化に対応したカンファレンス・文化・交流・賑わい・宿泊機能等の誘導</p> <p>○運河、自然、文化等の地域資源を活かした居住環境の誘導</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p> <p>(田町)</p> <p>○業務、商業、住居、教育、産業支援、文化、交流などの多様な機能を誘導</p> <p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化</p>	<p>(品川)</p> <p>○鉄道で分断された地域の一体化を目指し、緊急輸送道路等に繋がる東西連絡性の強化・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環状4号線、東西連絡道路、第二東西連絡道路等の整備 ・京浜急行線品川第一踏切の解消 <p>○羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備を契機に、乗換えの利便性向上を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮し、安全で快適な駅空間を形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅施設や駅前広場、歩行者デッキ等の大規模改良 <p>○既存の歩行者デッキや地形の高低差等に配慮した歩行者ネットワークの形成を促進</p> <p>○都市開発事業とあわせて国道15号等を整備するとともに安全で快適に回遊できる広場やデッキを整備</p> <p>○品川駅北周辺地区において、駐車場や荷さばき場の集約的な整備を地域において検討</p> <p>(田町)</p> <p>○国内外からの来街者が安全で快適に利用できる交通結節点として、東西自由通路及び駅前広場を整備</p> <p>○東西自由通路から連続する歩行者デッキ、緑豊かな歩行者空間の整備等による、歩行者ネットワークを充実・強化</p> <p>○芝浦公園の拡張・再整備</p>	<p>○都市開発事業において、建築物等の高さの制限や配置等の工夫などによる風の道の確保を誘導</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導</p> <p>○都市開発事業において、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間を確保することにより、帰宅困難者対策を誘導</p> <p>○運河、自然、歴史等の特徴を活かした、地域の顔となる魅力的な景観形成に配慮した都市開発事業を誘導</p> <p>○田町駅前及び駅周辺の防災機能の確保を誘導</p> <p>○札の辻交差点西側の既存斜面緑地の保全、再生により、地域特性を生かした潤いある街並みの誘導</p> <p>○地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出</p> <p>○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進</p>

				<p>○ 都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕 羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備を契機に、広域交通の拠点性を強化し、東京と国内外を結ぶサウスゲートにふさわしい交通結節点を形成し、業務、商業、研究、交流、宿泊、居住、教育、文化などの多様な機能が集積する、魅力ある新拠点を形成</p>			

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
新宿駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>東京駅周辺などとともに我が国の国際的な中枢業務機能を担う拠点を形成併せて、商業、文化等の集積による多様な魅力を備え回遊性のある観光・交流拠点を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新宿駅の駅前広場周辺においては、商業・業務・観光・娯楽・宿泊・滞在支援・MICE機能を充実・強化 ○ 新宿駅周辺における歩行者交通機能の改善・強化 ○ 放射6号線、国道20号などの幹線道路の整備に併せた業務・商業・文化・交流・居住機能等の複合市街地形成 ○ 西新宿の業務地域に近接する密集市街地においては、防災機能の向上と居住機能をはじめとする複合市街地を形成 ○ 震災等に対応できる都市防災機能の強化この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幹線道路等の整備により広域的な交通利便性を向上(幹線道路)放射6号線、環状5の1号線、国道20号(新宿跨線橋の架け替え)等の整備 ○ 駅周辺の回遊性を高めるため、駅東西を結ぶ自由通路の整備など立体的な歩行者ネットワークを充実・強化 ○ ユニバーサルデザインに配慮した安全で快適なターミナル駅を形成するとともに、乗換えの利便性を向上 ○ 車両系機能を再配置し、歩行者優先の駅前広場に再編 ○ 駅周辺の地下通路等における災害時の安全な空間の確保を誘導 ○ その他、以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場など道路下の駐車場整備を地域において検討 ・ 都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化 ・ 公共的空地の確保や保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・ 駐車場や荷さばき場の集約的な整備を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 密集市街地においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地の都市環境との調和などに十分配慮した都市開発事業を促進 ○ 新宿駅の駅前広場周辺においては、地域の顔となる魅力的な景観形成に配慮した都市開発事業を促進 ○ 都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○ 歌舞伎町地区においては、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進 ○ 都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○ 都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○ 大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進 ○ 地域の特性を生かしたエリアマネジメントにより、地域が主体となって、まちのにぎわいや魅力を創出 ○ AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>乗降客数が日本一のターミナルを有し、新宿副都心として発展してきた業務・商業機能を生かし、住宅、商業、文化、教育、宿泊、医療等の集積による多様な魅力を備えた、国際的な中枢業務・交流機能を担う拠点を形成</p>			<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
大崎駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>りんかい線、埼京線、湘南新宿ラインの大崎駅乗入れや新幹線品川駅の開業、さらには羽田空港の国際化などにより飛躍的に向上した交通アクセスを活かし、大規模低未利用地の土地利用転換や既成市街地の再構築により、東京のものづくり産業をリードする新産業・業務拠点を形成</p> <p>この際、魅力とにぎわいのある都市空間を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○研究開発型産業を核とする業務・商業・文化・交流・居住などの複合機能を導入 ○交通利便性を活かし、地域内の連携強化を図るための交通拠点機能を強化 ○少子高齢化社会への対応を図るため、福祉サービスの的確な提供、子どもを生き育てる環境の整備を促進 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○大崎駅周辺における交通結節機能や回遊性を高めるため、駅前広場機能や歩行者ネットワークを充実・強化 ○その他、以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・都市開発事業に関連した道路整備により、地域内道路網を強化 ・まとまった公共的空地の確保・緑化、風の道の確保、保水性舗装などの実施によりヒートアイランド現象の緩和に寄与 ・高齢者福祉施設や子育て支援施設の整備を都市開発事業にあわせて促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○目黒川沿川においては、水辺環境を生かした都市開発事業を促進 ○目黒川及び沿川に整備された親水空間の利活用を促進 ○密集市街地の整備においては、従前居住者の居住の確保や周辺市街地との都市環境の調和などに十分配慮した都市開発事業を促進 ○地域の市街地像を共有化し、一体的かつ総合的に都市開発事業を促進するための体制等を検討 ○地域全体の魅力を高め、持続的発展を図るため、地域主体のエリアマネジメントを展開 ○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化・壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市防災機能の強化を図るため、既存施設において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムへの転換を検討するとともに、今後の都市開発事業において導入を誘導 また、備蓄倉庫や一時滞留可能な空間の更なる充実に加え、既存施設等の効率的な活用を図ることで、帰宅困難者対策を支援 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>渋谷駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 特徴ある地形のもとで形成された商業・業務・文化・交流機能の集積を生かし、周辺のみどり豊かな環境と調和をとりつつ、多世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成 駅施設の機能更新と再編を進めるとともに、それを契機に周辺地域での街区再編および開発の連鎖による総合的なまちづくりを推進し、駅から周辺の個性的な街へ連続する、にぎわいと回遊性のある、災害に強く、安全・安心で歩いて楽しい都市空間を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文化・情報発信力をさらに高め、渋谷の活力を強化させるため、様々な世代のニーズに対応し、国際的にも通用する先端的で魅力ある都市機能として、世界に開かれた文化・交流・発信機能や、クリエイティブコンテンツ産業等の先進的な業務機能、産業育成機能、賑わいを強化する商業機能等を積極的に充実・強化 ○地域の活力を継承・発展させ国際競争力の向上に寄与するため、最先端の文化や情報をリアルタイムに世界へ発信する生活文化等の情報発信機能の強化 ○ユニバーサルデザインに配慮しつつ、乗換え利便性、羽田空港との結節性の向上、ゆとりある駅前広場や歩行者空間の拡充などにより、交通結節機能を強化 ○老朽建築物の更新に合わせた街区再編や災害時対策の推進による防災機能の強化 ○国内外からの来街者の多様な活動・交流を支える観光支援・宿泊機能等の充実・強化 ○地域の活力を継承・発展させる世界に開かれた生活文化の情報発信機能の強化 ○多様で持続的な地域活動及び地域コミュニティの形成を支える居住機能と生活支援機能の強化 ○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅中心地区の自動車交通の錯綜を改善し安全な歩行者空間を確保するため、ハチ公広場を含めた東西駅前広場を再編・拡充し、駐車・駐輪施設や、駐車場ネットワーク、周辺の街路を整備するとともに、周辺地域と連携した効果的な交通処理を実現する施策等を導入 ○東京メトロ副都心線と東急東横線との相互直通化及び地下化 ○乗換え利便性の向上や分かりやすい動線の確保を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した安全で快適な駅空間を形成するため、銀座線等を含む駅施設の大規模改良を検討 ○地形の高低差の解消やまちの分断の改善など、地形的特性に対応した立体的な歩行者ネットワークの形成を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・都市開発事業とあわせて駅前広場や国道246号等を活用し、駅と周辺地域をつなぐ地下広場、地下通路、デッキの整備 ・駅東西及び周辺地域を結ぶ自由通路等の整備 ・建築空間等を活用した上下移動が容易な動線の確保 ○公共的空地や道路沿道の緑化、保水性舗装などの実施により、景観づくりやヒートアイランド現象の緩和に寄与 ○地域に点在する歴史・文化資源を活かし、来街者が楽しむことができ、地域の人々と交流することができる賑わいのある公園・広場等の整備 ○駅及び駅周辺地区の基盤整備にあわせ、都市型集中豪雨対策として、雨水貯留槽整備などによる浸水・冠水対策を強化 ○都市開発事業に関連した道路整備により、 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅中心地区において公共施設と建築物との一体的な整備等により、限られた空間に多様な機能の集積を図る都市開発事業を促進 ○駅中心地区においては、渋谷らしさを活かしながら新しい渋谷の顔となる拠点を形成するため、街の玄関口にふさわしい駅前の景観と、沿道ごとの特色を生かした個性的な街並みの形成を促進 ○建築敷地内の空地の活用や鉄道上空等の活用により、地域内の回遊性を高める歩行者ネットワークの形成を促進 ○道路や公園などのみどりの厚みを生み出し、また渋谷川などの水辺を生かした良質な空間を創出する都市開発事業を誘導し、周辺とも連動した水とみどりのネットワークを形成 ○都市開発事業間での連携のもと、災害時の避難場所で地域の防災活動を支援する広場空間や建築敷地内の溜まり空間などを創出し、災害に強いまちづくりを推進 ○周辺地域において、防犯対策とまちづくりの取組の連携協働により、魅力ある繁華街の再生を促進 ○都市開発事業における敷地内緑化、屋上緑化、壁面緑化などヒートアイランド対策を誘導 ○駅中心地区において、街区間で連携したエネルギー管理の合理化や、面的なエネルギーネットワークの形成等により、総合的なエネルギー効率の向上を図る都市開発事業を誘導し、環境負荷低減に向けた取組みを促進 ○公民連携によるエリアマネジメントの取組みや、まちの持続的・広域的な成長を発信す

			<p>地域内の道路網を強化</p>	<p>る取組みの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、自立・分散型かつ効率的なエネルギーシステムの導入を誘導 ○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導 ○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
	<p>【特定都市再生緊急整備地域】 渋谷駅の機能更新と周辺都市基盤の再編を契機に、魅力ある商業、業務、文化・交流機能の充実を図るとともに、次世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成</p>			

地域整備方針

(東京都)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
池袋駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>○都市計画道路の整備や駅施設及び周辺市街地の再編を契機に、駅前広場、東西連絡通路の整備により、回遊性・利便性の高い歩行者中心のまちに都市構造を転換するとともに、商業・業務・芸術・文化・交流・情報発信機能等の集積する拠点を形成</p> <p>○駅周辺においては、老朽建築物や細分化した敷地の統合など、街区再編の推進と併せて、歩行者ネットワークや緑の創出を図るとともに、造幣局跡地を活用して、防災公園の整備と併せた連鎖的な開発により、木造密集市街地の改善を図るなど、駅周辺の防災性の向上と連動して、地域全体の防災対応力を強化</p> <p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>池袋駅及び周辺市街地の都市基盤の再編と併せて、文化・芸術等の育成・創造・発信・交流等の機能の充実・強化を図るとともに、魅力ある商業、業務機能等を集積し、国際アート・カルチャー都市を形成</p>	<p>○駅及び周辺市街地の再編に併せて、バスターミナルや駐車場等の公共施設を整備するとともに、駅前広場や歩行空間の拡充により、ユニバーサルデザインに配慮した駅周辺の交通結節機能の強化を推進</p> <p>○既存の劇場等の文化施設や道路・公園等の公共空間とも連携し、芸術・文化の情報発信・育成・交流・産業支援機能、にぎわいを強化する商業機能を積極的に充実・強化</p> <p>○国内外からの来街者の多様な活動・交流を支える観光支援・宿泊機能等の充実・強化</p> <p>○駅周辺では、老朽建築物や細分化した敷地の統合などの街区再編の推進により業務・商業機能の更新を図るとともに、防災公園整備と併せた木造密集地域の改善を図る連鎖的な開発の実施や既存ストックの活用等により、多様で持続的な地域活動・コミュニティの形成を支える居住・生活支援機能の強化</p> <p>○造幣局跡地において、文化・交流機能（教育・研究）の整備促進</p>	<p>○都市計画道路（環状5の1号線・補助81号線等）の整備を契機に、駅前広場の改良等により、駅周辺の自動車交通の転換を図り、安全・安心の歩行者空間を創出</p> <p>○駅施設や周辺市街地の再編に併せて、地域の回遊性、乗換利便性、防災性の向上を図る歩行者ネットワークの形成を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の東西を連絡する地下通路の拡幅・整序 ・地下通路と地上部との連続性・一体性の確保 ・駅と周辺市街地との回遊性の向上と地域の防災力を高める東西連絡通路等の整備 ・建築空間等を活用した上下移動が容易な動線の確保 <p>○都市開発事業と併せて、駅前広場を再編し、バスターミナル・駐車・駐輪・荷捌場施設などの整備を促進</p> <p>○乗換利便性の向上や分かりやすい動線の確保を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮した、安全で快適なターミナル機能を強化</p>	<p>○池袋駅中心地区においては、街の玄関口にふさわしい、個性ある美しい都市空間の形成を促進</p> <p>○木造密集地域においては、従前の居住機能の確保及び周辺市街地の都市環境や街並みとの調和、建物の形態・色彩など、良好な都市景観の形成等に十分配慮し、都市開発事業や既存ストックを活用したリノベーションを促進</p> <p>○駅周辺においては、まちづくりの取組みと防犯対策の連携・協働により、安全・安心で魅力ある繁華街の再生を促進</p> <p>○公民連携によるエリアマネジメントにより、公的空間の管理・運営、まちなぎわいや魅力を発信する取組を推進</p> <p>○都市開発事業において、敷地内・屋上・壁面緑化等により、ヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により、地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、未利用エネルギーの活用、自立・分散型かつ高効率なエネルギーシステムの導入を誘導</p>

		<p>○震災等に対応できる都市防災機能の強化 この際、人口・機能等が特に集積する大規模ターミナル駅周辺において都市防災機能の一層の充実</p>	<p>○地域に点在する文化・芸術資源をいかし、情報発信や国内外からの来街者が楽しみ、地域の人々と交流することができるにぎわいのある公園・広場等の整備を促進</p> <p>○造幣局跡地において、地域全体の防災力強化のため防災公園の整備を推進</p> <p>○公共的空地や道路沿道の緑化、遮熱性舗装などの実施により、ヒートアイランド現象の緩和を推進</p>	<p>○都市機能が集積しエネルギーを高密度で消費する拠点地区において、複数街区にまたがる面的ネットワークの整備によるエネルギーの自立化・多重化など、地域特性に応じた災害時の業務機能などの継続に資する整備を誘導</p> <p>○大規模災害発生時における駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進</p> <p>○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進</p> <p>○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導</p>
--	--	---	--	---

地域整備方針

(東京都・川崎市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
羽田空港南・川崎殿町・大師河原地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>国際拠点空港である羽田空港に近接する大田区羽田空港南地区、川崎市殿町・大師河原地区において、羽田空港への近接性や多摩川に面した優れた地域特性を活かし、公民連携によるインフラ整備と、適切な土地利用の誘導により、都市機能の集積を進め、東京圏のビジネス機能、新産業創造・発信機能を支え、日本経済の持続的な発展を牽引する国際競争拠点を形成</p>	<p>○多摩川に面する良好な環境を備えた居住機能の強化にあわせて、業務、商業機能の強化、景観形成や緑化の推進による魅力的な都市環境を形成</p> <p>○優れた立地特性を活かし、国内外の大学や研究機関と連携したライフサイエンス・環境分野の先端産業等の研究開発機能、賑わい・交流機能、物流機能、生産機能を強化</p> <p>○国際競争拠点の中核機能をサポートし、京浜臨海部を中心とするネットワークを強化する臨空関連機能、交通拠点機能、産業インキュベーション機能等の都市機能を強化</p> <p>○京浜臨海部の地域特性を活かし、水素や太陽光発電等のクリーンで自立的なエネルギーの活用により、環境負荷の低減を図るとともに、防災機能等の強化による災害時にも強い産業基盤を形成</p> <p>○交通アクセスの向上のための交通ネットワークの強化</p>	<p>○川崎縦貫道路の整備による広域交通アクセスの向上</p> <p>・首都高速道路川崎縦貫線の整備</p> <p>○交通の円滑化・安全対策</p> <p>・国道409号線の整備</p> <p>・臨港道路東扇島水江町線の整備</p> <p>・京急大師線の連続立体交差による踏切渋滞の解消</p> <p>○都市開発事業にあわせて、防災・洪水対策として多摩川スーパー堤防を整備するとともに、歩行者・自転車ネットワークを整備</p> <p>○京急大師線小島新田駅までの歩行者ネットワークの整備によるアクセスの向上</p> <p>○京急大師線産業道路駅の周辺整備とバスアクセスの向上</p> <p>○内奥運河から多摩川に連続した緑のネットワークの形成について検討</p>	<p>○多摩川沿川において、水辺環境の魅力を活かし、景観形成に配慮した都市開発事業を促進</p>
	<p>〔特定都市再生緊急整備地域〕</p> <p>国家戦略特区における東京圏の重要なエリアである羽田空港南地区と殿町地区において、羽田空港を中心とした連携を強化し、世界で一番ビジネスのしやすい環境を整備することにより、世界から資金・人材・企業・情報等を集めるとともに、ライフサイエンス分野等におけるイノベーションや、東京圏の国際化と活性化に寄与する機能形成を通じ、東京圏のビジネス機能、新産業創造・発信機能を支える成長戦略拠点を形成</p>	<p>○羽田空港周辺・京浜臨海部の特長と強みを活かした「ヒト・モノ・ビジネス」の交流促進や連携強化を図ることにより、日本の魅力・強みを集め、世界を惹きつける魅力的な都市環境を形成するとともに、イノベーションを創出する研究開発機能やそれを支える多様な機能を強化</p> <p>○成長戦略拠点の形成を支えるインフラ整備等による交通ネットワークの強化</p>	<p>○成長戦略拠点の形成を支える羽田空港南地区と殿町地区とを結ぶ連絡道路の整備とバス等による両地区間のアクセスの向上</p>	<p>○羽田空港南地区、殿町地区における導入機能について、相互補完、連携しながら都市開発事業を促進</p>

	<p>(羽田空港南地区)</p> <p>国際的な拠点空港である羽田空港に隣接し、多摩川、海老取川の豊かな水域空間を有する羽田空港南地区において、立地特性を活かし、文化・交流機能、産業支援機能、商業機能、空港連携機能などの導入を図り、周辺環境との共生を目指した潤いと安らぎのある空間を形成しつつ、人・モノ・情報の活発な交流を促進し、羽田空港機能を強化する成長戦略拠点を形成</p>	<p>○国際的な拠点空港である羽田空港の機能を十二分に発揮するとともに、首都東京の国際化と活性化に寄与する多様な機能を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノづくり企業が集積する地域産業と国内及びアジアを中心とする海外との広域的な交流拠点機能を強化 ・国際線旅客等の利便性の向上に資する宿泊機能を強化 ・航空・空港関連、観光関連、国際交流関連など、国際線地区に隣接したエリアにふさわしい複合業務機能を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な街区を形成し、効果的な土地利用を図るための地区内幹線道路の整備 ○地域内道路を整備し、ゆとりある歩行者空間や自転車ネットワークの整備 ○市街地からアクセスできるようにするための公共的駐車場の整備 ○市街地に隣接した水と緑のオープンスペースが開け、環境との共生を目指した潤いと安らぎのある空間を形成 ○天空橋駅を核とする交通結節機能向上のため、駅前広場を配置 ○国際線旅客ターミナルビルとの接続のため利用者が徒歩で移動できるアクセス通路(空中歩廊)の整備 ○多摩川、海老取川の水際線に接し、空港に臨む魅力的な立地を活かし、土地利用に合わせて、適切に公園や緑地を配置 ○ゆとりある歩道や公園・緑地の整備、沿道へのオープンスペースの誘導などにより、安全で快適な歩行者空間を確保 ○移動しやすい歩行空間の確保など、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 ○公共的空地や道路沿道の緑化、遮熱性舗装などの実施により、ヒートアイランド現象の緩和を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界と地域をつなぐ特性を活用し、人・モノ・情報の活発な交流を促進し、多様な施設に人が集まり、憩い、楽しみ、高度な充足感が得られる空間の形成に資する都市開発事業を促進 ○世界でも有数の規模を誇る羽田空港の機能を十二分に発揮させるため、さらなる空港の発展と活用に資する都市開発事業を促進 ○環境との共生を目指した潤いと安らぎのある空間形成を図る都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、敷地内・屋上・壁面緑化等により、ヒートアイランド対策を誘導 ○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により、地球温暖化対策を誘導 ○都市開発事業において、未利用エネルギーの活用、自立・分散型かつ高効率なエネルギーシステムの導入を誘導 ○AI、IoT等の先端技術を活用した都市開発事業を促進 ○都市開発事業において、ゆとりある共用スペースや良質なオープンスペースの充実など、新しい日常に向けた対策を誘導
--	---	--	---	---

	<p>(殿町地区)</p> <p>羽田空港に近接し、多摩川の豊かな水辺空間を有する殿町地区において、多摩川に面したうおいと緑豊かな良好な都市環境を形成しつつ、公民連携によるインフラ整備と適切な土地利用の誘導により、ライフサイエンス・環境分野の研究開発等の中核機能、国内外の人材、もの、情報の交流拠点となる都市機能の集積を進め、国際競争力の強化を先導する世界的なイノベーション創出拠点を形成</p>	<p>○ライフサイエンス・環境分野の国際競争拠点の中核機能となる高度な研究開発機能等の強化とこれを支える多様な機能を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学や研究機関、医療機関、企業等と連携した先端産業等の研究開発機能の強化 ・研究開発シーズの早期実現のための産業インキュベーション機能、生産機能の強化 ・国内外の高度人材・企業等の交流、情報発信のための賑わい・交流機能、物流機能、臨空関連機能、交通拠点機能の強化 <p>○京浜臨海部に集積する、水素や太陽光等に係る高度な環境技術の活用により、環境負荷の低減を図るとともに、自立的なエネルギー源の確保を図ることで、防災機能や災害時のライフライン機能を強化</p> <p>○主要な鉄道駅や羽田空港への交通アクセス向上のための交通ネットワークの強化</p>	<p>○京急大師線産業道路駅や羽田空港へのバスアクセスの強化</p> <p>○多摩川に面した部分を公共施設として、緑地や広場等を整備</p> <p>○地域内の幹線道路から多摩川へ抜ける通路の整備</p>	<p>○羽田空港を経由する国内外の高度人材を引きつける都市機能の強化</p>
--	--	---	---	--

地域整備方針

(神戸市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>神戸ポートアイランド西地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕 神戸市の都心の三宮地域と神戸空港を結ぶ枢要な都市軸上に位置する神戸ポートアイランド西地域において、再生医療等の基礎・臨床研究と先端医療産業や高度専門病院群の集積及び国家機関技術であるスーパーコンピュータ「富岳」を核とした研究教育拠点の形成により、ライフサイエンス分野や計算科学関連分野などの企業、研究機関、大学の知的人財が国内外から集積・交流する知的創造の場を形成。</p> <p>また、コンテナバース跡地に進出した2大学や海を満喫できる開放的なウォーターフロント空間、緑豊かな公園緑地とも連携を図り、住み、働き、訪れる人々でにぎわう、魅力的で質の高い都市環境を形成。</p>	<p>○ ライフサイエンス、ロボットテクノロジー、そのほかスーパーコンピュータ「富岳」を活用した多様な分野における産業・研究機能、情報文化機能の導入・集積を図るとともに、スポーツ、レクリエーション機能を導入。</p> <p>ウォーターフロントの立地特性や係留機能を活かした研究・開発、業務機能や、居住機能、商業・集客機能等の都市機能の充実及び高潮・津波対策やアクセスルートの耐震化など、防災対策の充実を推進。</p>	<p>○ 神戸新交通ポートアイランド線各駅と有機的に連携する歩行者ネットワークの拡充。</p>	